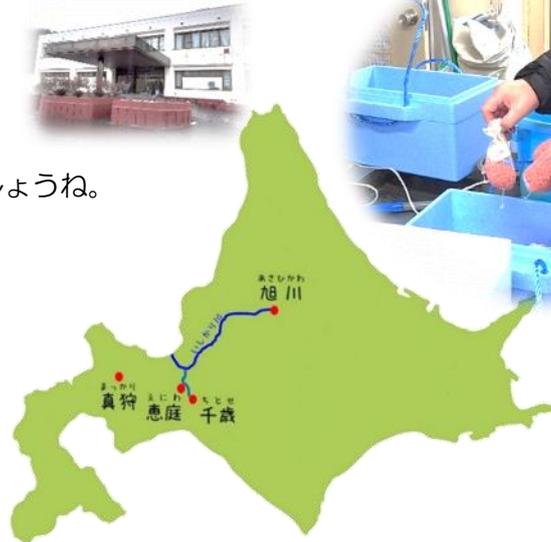


令和4年度 **サケ**の観察日記

No.1

12月13日

恵庭市にある、北海道立水産孵化場へサケの卵を受けとりに行ってきました。卵の中に見える黒い点は“目”です。どんなふうに私たちが見えているのでしょうか。



卵が旭川にとどくまでのながれ



千歳でサケをつかまえ



真狩で卵をとりだし育て



発眼卵になったら恵庭に移動し、卵の申込者に配達



旭川についたら卵を申し込んだ団体に分け、それぞれの水槽へ

12月14日

旭山動物園さんにサケの卵をお届けしました。場所は「ほっきょくぐま館」と「えぞひぐま館」です。



サケの水槽は「えぞひぐま館」の出口に置いてあります。卵は約100粒。



子グマが大人気ですが、サケの水槽ものぞいてみてください。卵は約300粒。となりは昨年のお卵から育てた先輩サケです。

12月14日

教育大学附属旭川幼稚園さんにも卵をお届けしました。今年度もサケを育てていただきます。



幼稚園の玄関前に水槽があり、園長先生が卵をいれると、外で遊んでいた子ども達が集まってきて、くいいるように見ていました。



「イクラ、食べたい」という声もきこえましたが、園長先生が「目のはっきり見える卵は、とても固いんだよ」と説明していました。



12月26日

サケがふ化しました!!

幼稚園のサケのふ化が始まりました。残りの卵も次々ふ化しています。



卵の中のサケは、カラをやぶるために「ふ化酵素」というものをだしてカラを溶かしていきます。その酵素によって水面が泡立ちます。



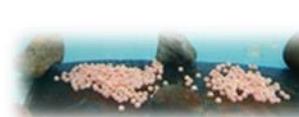
12月28日

えぞひぐま館でも!!

動物園のえぞひぐま館のサケもふ化し始めました。



うまれてる!! すごい!



ほっきょく館のサケはまだふ化していませんでした。(水温が少し低いようです)